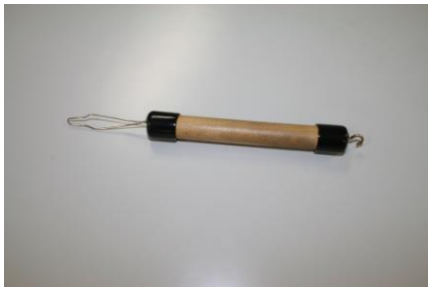
【貸し出しするユニバーサルグッズ】



①「ボタンエイド」

ポイント

・片手でもボタンが掛けられるので、脳梗塞で片方が麻痺の高齢者や、指に障害のある方などには特に便利さがわかるグッズ

・試す時は、カーディガン等上着がわかりやすいです

例えばこのように・・・

②「らくらくオープナー」

ポイント

・ビンのふたなど楽に開けられます。力が弱い方（子どもや女性）だけでなく、誰もが使いやすく、サイズの大小にも対応ができるグッズ

③「使っていいね！スプーン」

ポイント

・先がやわらかい上、握りやすく、乳児からお年寄りまで使えるスプーン

・先が柔らかいと、食べさせてもらう方も快適です

④「さじかげん」

ポイント

・出したい分量の場所を押すと、約 10cc（小さじ 2 杯分）・15ｃｃ（大さじ 1 杯分）が出せるグッズ

・目の不自由なかたにも定量が出すことができます。中の筒も取り外せるので衛生的に使えます

⑤「紙パックハンドル」

ポイント

・紙パックを持ちやすく、注ぎやすくすることが出来るグッズ
・１ℓ、500mℓの紙パックに使えます
・紙パック洗浄後の水切りとしても使えます

ユニバーサルデザインは、年齢や障害の有無に関係なく、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり、ものづくり、環境づくりなどを行なっていこうとする考え方です。

一方、年齢や障害によって生活を送るうえで支障となる障害がある場合、それを取り除いた状態がバリアフリーです。

【ユニバーサルデザインの７原則】

① 公平であること
誰にでも容易に利用できる。誰にでも公平に利用できる。

②自由度が高いこと
利用する人の能力や好みに対して自由度が高い。

③簡単であること
利用する人の知識、経験、言語等に関係なく使い方が容易。

④分かりやすいこと
利用する人の五感能力に関係なく、理解しやすい。

⑤安全であること
ミスや間違った場合でも、危険や不具合が生じない。

⑥疲れず持続できること
無理なく快適で効率よく利用でき、疲れない。

⑦アクセスしやすいこと
能力、体格に関係なく、アクセスしやすい大きさ、空間がある。